

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ワークシートやブックの作成と管理①</li> <li>2 ワークシートやブックの作成と管理②</li> <li>3 セルやセル範囲のデータの管理①</li> <li>4 セルやセル範囲のデータの管理②</li> <li>5 テーブルの作成①</li> <li>6 テーブルの作成②</li> <li>7 テーブルの作成③</li> <li>8 関数を使用時のデータ集計①</li> <li>9 関数を使用時のデータ集計②</li> <li>10 関数を使用時のデータ集計③</li> <li>11 関数を使用時の条件付き計算④</li> <li>12 関数を使用時の条件付き計算⑤</li> <li>13 関数を使用時の条件付き計算⑥</li> <li>14 関数を使用した文字列の整形や変更①</li> <li>15 関数を使用した文字列の整形や変更②</li> <li>16 関数を使用した文字列の整形や変更③</li> <li>17 グラフの作成①</li> <li>18 グラフの作成②</li> <li>19 グラフの作成③</li> <li>20 グラフの書式設定①</li> <li>21 グラフの書式設定②</li> <li>22 グラフの書式設定③</li> <li>23 グラフの書式設定④</li> <li>24 グラフの書式設定⑤</li> <li>25 オブジェクトの挿入や書式設定①</li> <li>26 オブジェクトの挿入や書式設定②</li> <li>27 オブジェクトの挿入や書式設定③</li> <li>28 オブジェクトの挿入や書式設定④</li> <li>29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤</li> <li>30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営法務入門
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 国際社会に関する基礎用語 2 国際社会に関する事例学習① 3 国際社会に関する事例学習② 4 経済に関する基礎用語 5 経済に関する事例学習 6 労働環境に関する基礎用語 7 労働環境に関する事例学習 8 経営に関する基礎用語 9 経営に関する事例学習① 10 経営に関する事例学習② 11 IT社会に関する基礎用語 12 IT社会に関する事例学習① 13 IT社会に関する事例学習② 14 AIに関する基礎用語 15 AIに関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは① 2 グループディスカッションとは② 3 グループディスカッションの役割① 4 グループディスカッションの役割② 5 抽象テーマ型グループディスカッション① 6 抽象テーマ型グループディスカッション② 7 抽象テーマ型グループディスカッション③ 8 課題解決型グループディスカッション① 9 課題解決型グループディスカッション② 10 課題解決型グループディスカッション③ 11 KJ法① 12 KJ法② 13 資料読み取り型グループディスカッション① 14 資料読み取り型グループディスカッション② 15 資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループディスカッションとは</li> <li>2 グループディスカッションの役割</li> <li>3 抽象テーマ型グループディスカッション①</li> <li>4 抽象テーマ型グループディスカッション②</li> <li>5 抽象テーマ型グループディスカッション③</li> <li>6 課題解決型グループディスカッション①</li> <li>7 課題解決型グループディスカッション②</li> <li>8 課題解決型グループディスカッション③</li> <li>9 資料読み取り型グループディスカッション①</li> <li>10 資料読み取り型グループディスカッション②</li> <li>11 資料読み取り型グループディスカッション③</li> <li>12 フェルミ推定</li> <li>13 KJ法</li> <li>14 その他特殊型①</li> <li>15 その他特殊型②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス専攻学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語 1
	2	訓読み・送り仮名・熟語 2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方 1
	6	漢字の意味・使い方 2
	7	漢字の意味・使い方 3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き 1
	11	特殊な漢字の読み書き 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス専攻学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習1
	3	電卓実践演習2
	4	電卓実践演習3
	5	電卓実践演習4
	6	電卓実践演習5
	7	電卓実践演習6
	8	電卓実践演習7
	9	電卓実践演習8
	10	電卓実践演習9
	11	電卓実践演習10
	12	電卓実践演習11
	13	電卓実践演習12
	14	電卓実践演習13
	15	電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文章の作成と管理①</li> <li>2 文章の作成と管理②</li> <li>3 文章の作成と管理③</li> <li>4 表作成の基本操作①</li> <li>5 表作成の基本操作②</li> <li>6 表作成の基本操作③</li> <li>7 表、画像、図形を使った文書の作成(2)①</li> <li>8 表、画像、図形を使った文書の作成(2)②</li> <li>9 表、画像、図形を使った文書の作成(2)③</li> <li>10 見やすく使いやすい表にする編集操作①</li> <li>11 見やすく使いやすい表にする編集操作②</li> <li>12 見やすく使いやすい表にする編集操作③</li> <li>13 見やすく使いやすい表にする編集操作④</li> <li>14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤</li> <li>15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word:長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel:目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word:段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel:複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文書の作成と管理①</li> <li>2 文書の作成と管理②</li> <li>3 文書の作成と管理③</li> <li>4 数式・関数を活用した集計表の作成①</li> <li>5 数式・関数を活用した集計表の作成②</li> <li>6 数式・関数を活用した集計表の作成③</li> <li>7 ワークシート間の集計①</li> <li>8 ワークシート間の集計②</li> <li>9 ワークシート間の集計③</li> <li>10 グラフの基本①</li> <li>11 グラフの基本②</li> <li>12 グラフの基本③</li> <li>13 目的に応じたグラフの作成と編集①</li> <li>14 目的に応じたグラフの作成と編集②</li> <li>15 目的に応じたグラフの作成と編集③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文書の作成と管理①</li> <li>2 文書の作成と管理②</li> <li>3 文書の作成と管理③</li> <li>4 データベース機能の利用①</li> <li>5 データベース機能の利用②</li> <li>6 データベース機能の利用③</li> <li>7 データの抽出①</li> <li>8 データの抽出②</li> <li>9 データの抽出③</li> <li>10 ピボットテーブル①</li> <li>11 ピボットテーブル②</li> <li>12 ピボットテーブル③</li> <li>13 マクロによる作業の自動化①</li> <li>14 マクロによる作業の自動化②</li> <li>15 マクロによる作業の自動化③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務職ビジネスマナー
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	マナー教室の講師であり、各種イベントや式典の司会、VTRのナレーション等も務める教員が授業を行う
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事務職の1日の流れ</li> <li>2 電話対応応用①</li> <li>3 電話対応応用②</li> <li>4 電話対応応用③</li> <li>5 接遇の流れ①</li> <li>6 接遇の流れ②</li> <li>7 接遇の流れ③</li> <li>8 演習（ロールプレイング）①</li> <li>9 演習（ロールプレイング）②</li> <li>10 演習（ロールプレイング）③</li> <li>11 演習（ロールプレイング）④</li> <li>12 演習（ロールプレイング）⑤</li> <li>13 演習（ロールプレイング）⑥</li> <li>14 効果測定①</li> <li>15 効果測定②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理実務
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務会から講師を招いての授業科目）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	企業、会計事務所から講師を招き講義を行う
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理・総務の年間カリキュラム</li> <li>2 小切手・手形の実務上のポイント</li> <li>3 入出金伝票と現金出納帳</li> <li>4 当座預金出納帳と手形記入帳</li> <li>5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分</li> <li>6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①</li> <li>7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②</li> <li>8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③</li> <li>9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④</li> <li>10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤</li> <li>11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥</li> <li>12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①</li> <li>13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②</li> <li>14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③</li> <li>15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①</li> <li>16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②</li> <li>17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③</li> <li>18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①</li> <li>19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②</li> <li>20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③</li> <li>21 個人住民税の徴収及び納付①</li> <li>22 個人住民税の徴収及び納付②</li> <li>23 印紙税の基礎知識</li> <li>24 受取利息の会計処理</li> <li>25 消費税法の概要①</li> <li>26 消費税法の概要②</li> <li>27 消費税の会計処理</li> <li>28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①</li> <li>29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②</li> <li>30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務会から講師を招いての授業科目）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	企業、会計事務所から講師を招き講義を行う
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所得税の基礎知識①</li> <li>2 所得税の基礎知識②</li> <li>3 所得税の基礎知識③</li> <li>4 年末調整のしかた①</li> <li>5 年末調整のしかた②</li> <li>6 年末調整のしかた③</li> <li>7 法定調書の流れ①</li> <li>8 法定調書の流れ②</li> <li>9 法定調書の流れ③</li> <li>10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①</li> <li>11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②</li> <li>12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③</li> <li>13 労働保険の概要及び会計処理①</li> <li>14 労働保険の概要及び会計処理②</li> <li>15 労働保険の概要及び会計処理③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス専攻学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間(3単位)	
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)	
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤	31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 売上事務の流れ</li> <li>2 納品書の作成と売上計上①</li> <li>3 納品書の作成と売上計上②</li> <li>4 請求書の作成と代金回収管理①</li> <li>5 請求書の作成と代金回収管理②</li> <li>6 請求書の作成と代金回収管理③</li> <li>7 複数の得意先との取引①</li> <li>8 複数の得意先との取引②</li> <li>9 複数の得意先との取引③</li> <li>10 仕入事務の流れ</li> <li>11 仕入管理の記帳①</li> <li>12 仕入管理の記帳②</li> <li>13 仕入代金の支払いと買掛金管理①</li> <li>14 仕入代金の支払いと買掛金管理②</li> <li>15 仕入代金の支払いと買掛金管理③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	時事	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス専攻学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	用語知識①
	2	用語知識②
	3	用語知識③
	4	用語知識④
	6	考え方①
	7	考え方②
	8	考え方③
	9	考え方④
	10	発表①
	11	発表②
	12	発表③
	13	個人研究①
	14	個人研究②
	15	個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	文化リテラシーⅢ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	日本文化を理解する(知る)
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	他国の文化や簡単な言語の習得
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 自己紹介 2 時事研究① 3 時事研究② 4 時事研究③ 5 時事研究④ 6 グループディスカッション① 7 グループディスカッション② 8 グループディスカッション③ 9 グループディスカッション④ 10 発表・ディベート① 11 発表・ディベート② 12 発表・ディベート③ 13 発表・ディベート④ 14 発表・ディベート⑤ 15 発表・ディベート⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①(基礎編) 2 簿記の概要Ⅰ②(基礎編) 3 簿記の概要Ⅰ③(基礎編) 4 簿記の概要Ⅰ④(基礎編) 5 現金預金Ⅰ①(基礎編) 6 現金預金Ⅰ②(基礎編) 7 現金預金Ⅰ③(基礎編) 8 債権債務Ⅰ①(基礎編) 9 債権債務Ⅰ②(基礎編) 10 商品売買Ⅰ①(基礎編) 11 商品売買Ⅰ②(基礎編) 12 商品売買Ⅰ③(基礎編) 13 給料等Ⅰ①(基礎編) 14 給料等Ⅰ②(基礎編) 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	120時間(4単位)
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 税効果会計Ⅰ①(基礎編) 2 税効果会計Ⅰ②(基礎編) 3 税効果会計Ⅰ③(基礎編) 4 税効果会計Ⅰ④(基礎編) 5 税効果会計Ⅰ⑤(基礎編) 6 税効果会計Ⅰ⑥(基礎編) 7 税効果会計Ⅰ⑦(基礎編) 8 税効果会計Ⅰ⑧(基礎編) 9 現在価値計算Ⅰ①(基礎編) 10 現在価値計算Ⅰ②(基礎編) 11 現在価値計算Ⅰ③(基礎編) 12 保険金Ⅰ①(基礎編) 13 保険金Ⅰ②(基礎編) 14 保険金Ⅰ③(基礎編) 15 新株予約権付社債Ⅰ①(基礎編) 16 新株予約権付社債Ⅰ②(基礎編) 17 新株予約権付社債Ⅰ③(基礎編) 18 新株予約権付社債Ⅰ④(基礎編) 19 新株予約権付社債Ⅰ⑤(基礎編) 20 新株予約権付社債Ⅰ⑥(基礎編) 21 減損会計Ⅰ①(基礎編) 22 減損会計Ⅰ②(基礎編) 23 減損会計Ⅰ③(基礎編) 24 減損会計Ⅰ④(基礎編) 25 資産除去債務Ⅰ①(基礎編) 26 資産除去債務Ⅰ②(基礎編) 27 外貨建会計Ⅰ①(基礎編) 28 外貨建会計Ⅰ②(基礎編) 29 外貨建会計Ⅰ③(基礎編) 30 外貨建会計Ⅰ④(基礎編) 31 外貨建会計Ⅰ⑤(基礎編) 32 外貨建会計Ⅰ⑥(基礎編) 33 リース会計Ⅰ①(基礎編) 34 リース会計Ⅰ②(基礎編) 35 リース会計Ⅰ③(基礎編) 36 リース会計Ⅰ④(基礎編) 37 リース会計Ⅰ⑤(基礎編) 38 リース会計Ⅰ⑥(基礎編) 39 試用販売Ⅰ①(基礎編) 40 試用販売Ⅰ②(基礎編) 41 試用販売Ⅰ③(基礎編) 42 試用販売Ⅰ④(基礎編) 43 試用販売Ⅰ⑤(基礎編) 44 試用販売Ⅰ⑥(基礎編) 45 割賦販売Ⅰ①(基礎編) 46 割賦販売Ⅰ②(基礎編) 47 割賦販売Ⅰ③(基礎編) 48 割賦販売Ⅰ④(基礎編) 49 割賦販売Ⅰ⑤(基礎編) 50 割賦販売Ⅰ⑥(基礎編) 51 未着品販売Ⅰ①(基礎編) 52 未着品販売Ⅰ②(基礎編) 53 未着品販売Ⅰ③(基礎編) 54 未着品販売Ⅰ④(基礎編) 55 委託販売・受託販売Ⅰ①(基礎編) 56 委託販売・受託販売Ⅰ②(基礎編) 57 委託販売・受託販売Ⅰ③(基礎編) 58 委託販売・受託販売Ⅰ④(基礎編) 59 委託販売・受託販売Ⅰ⑤(基礎編) 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 固定資産Ⅰ①(基礎編) 2 固定資産Ⅰ②(基礎編) 3 ソフトウェアⅠ①(基礎編) 4 債権債務Ⅰ①(基礎編) 5 貸倒れⅠ①(基礎編) 6 退職給付会計Ⅰ①(基礎編) 7 退職給付会計Ⅰ②(基礎編) 8 税金Ⅰ①(基礎編) 9 社債Ⅰ①(基礎編) 10 社債Ⅰ②(基礎編) 11 純資産会計Ⅰ①(基礎編) 12 純資産会計Ⅰ②(基礎編) 13 有価証券Ⅰ①(基礎編) 14 有価証券Ⅰ②(基礎編) 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	会計学の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス・財務諸表の基礎(基礎)</li> <li>2 個別注記表(基礎)</li> <li>3 現金及び預金(基礎)</li> <li>4 債権債務(基礎)</li> <li>5 関係会社概念(基礎)</li> <li>6 売上原価の算定(基礎)</li> <li>7 貸倒れ(基礎)</li> <li>8 給料等(基礎)</li> <li>9 その他の引当金(基礎)</li> <li>10 退職給付会計(基礎)</li> <li>11 有形固定資産(基礎)</li> <li>12 無形固定資産(基礎)</li> <li>13 株主資本(基礎)</li> <li>14 財務諸表論の基礎概念(基礎)</li> <li>15 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論) 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	120時間(4単位)
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	会計基礎の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 売買目的有価証券(基礎)</li> <li>2 満期保有目的の債券(基礎)</li> <li>3 子会社株式・関連会社株式(基礎)</li> <li>4 その他有価証券(基礎)</li> <li>5 ソフトウェア(基礎)</li> <li>6 法人税等・追徴還付(基礎)</li> <li>7 現在価値計算(基礎)</li> <li>8 社債(基礎)</li> <li>9 利益剰余金(基礎)</li> <li>10 自己株式(基礎)</li> <li>11 配当(基礎)</li> <li>12 外形基準、租税公課(基礎)</li> <li>13 源泉所得税、社会保険料(基礎)</li> <li>14 税効果会計(基礎)</li> <li>15 税効果注記(基礎)</li> <li>16 源泉所得税、社会保険料(基礎)</li> <li>17 株主資本等変動計算書(基礎)</li> <li>18 減損会計(基礎)</li> <li>19 配当を受けた株主の処理(基礎)</li> <li>20 圧縮記帳(基礎)</li> <li>21 外貨建取引(基礎)</li> <li>22 退職給付会計簡便法(基礎)</li> <li>23 繰延資産(基礎)</li> <li>24 為替予約(基礎)</li> <li>25 仕入・売上げの計上基準(基礎)</li> <li>26 消費税等(基礎)</li> <li>27 他勘定振替(基礎)</li> <li>28 外貨建有価証券(基礎)</li> <li>29 リース会計(基礎)</li> <li>30 証券投資信託(基礎)</li> <li>31 ゴルフ会員権(基礎)</li> <li>32 売価還元法(基礎)</li> <li>33 製造業会計(基礎)</li> <li>34 研究開発費(基礎)</li> <li>35 新株予約権(基礎)</li> <li>36 キャッシュ・フロー計算書(基礎)</li> <li>37 損益計算書総論(基礎)</li> <li>38 貸借対照表総論(基礎)</li> <li>39 資産総論(基礎)</li> <li>40 棚卸資産に関する会計基準(基礎)</li> <li>41 連続意見書(基礎)</li> <li>42 引当金(基礎)</li> <li>43 会計観(基礎)</li> <li>44 金融商品(基礎)</li> <li>45 純資産会計①(基礎)</li> <li>46 純資産会計②(基礎)</li> <li>47 純資産会計③(基礎)</li> <li>48 純資産会計④(基礎)</li> <li>49 純資産会計⑤(基礎)</li> <li>50 企業結合会計①(基礎)</li> <li>51 企業結合会計②(基礎)</li> <li>52 企業結合会計③(基礎)</li> <li>53 企業結合会計④(基礎)</li> <li>54 企業結合会計⑤(基礎)</li> <li>55 事業分離会計①(基礎)</li> <li>56 事業分離会計②(基礎)</li> <li>57 事業分離会計③(基礎)</li> <li>58 事業分離会計④(基礎)</li> <li>59 事業分離会計⑤(基礎)</li> <li>60 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論) 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会計上の変更及び誤謬の訂正①(基礎)</li> <li>2 会計上の変更及び誤謬の訂正②(基礎)</li> <li>3 分配可能額①(基礎)</li> <li>4 分配可能額②(基礎)</li> <li>5 ストック・オプション①(基礎)</li> <li>6 ストック・オプション②(基礎)</li> <li>7 セール&amp;リースバック①(基礎)</li> <li>8 セール&amp;リースバック②(基礎)</li> <li>9 財務諸表等規則①(基礎)</li> <li>10 財務諸表等規則②(基礎)</li> <li>11 財務諸表等規則③(基礎)</li> <li>12 財務諸表等規則④(基礎)</li> <li>13 負債①(基礎)</li> <li>14 負債②(基礎)</li> <li>15 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①(初級編) 3 課税の対象②(初級編) 4 課税の対象③(初級編) 5 課税の対象④(初級編) 6 非課税①(初級編) 7 非課税②(初級編) 8 非課税③(初級編) 9 非課税④(初級編) 10 輸出免税等①(初級編) 11 輸出免税等②(初級編) 12 輸出免税等③(初級編) 13 輸出免税等④(初級編) 14 資産の譲渡等の時期(初級編) 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	120時間(4単位)
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 控除対象仕入税額①(初級編)</li> <li>2 控除対象仕入税額②(初級編)</li> <li>3 控除対象仕入税額③(初級編)</li> <li>4 控除対象仕入税額④(初級編)</li> <li>5 控除対象仕入税額⑤(初級編)</li> <li>6 控除対象仕入税額⑥(初級編)</li> <li>7 売上げに係る対価の返還等①(初級編)</li> <li>8 売上げに係る対価の返還等②(初級編)</li> <li>9 貸倒れが生じた場合①(初級編)</li> <li>10 貸倒れが生じた場合②(初級編)</li> <li>11 課税仕入れの範囲①(初級編)</li> <li>12 課税仕入れの範囲②(初級編)</li> <li>13 課税仕入れの範囲③(初級編)</li> <li>14 課税仕入れの範囲④(初級編)</li> <li>15 課税仕入れ等の時期①(初級編)</li> <li>16 課税仕入れ等の時期②(初級編)</li> <li>17 課税仕入れ等の時期③(初級編)</li> <li>18 課税仕入れ等の時期④(初級編)</li> <li>19 課税売上割合①(初級編)</li> <li>20 課税売上割合②(初級編)</li> <li>21 課税売上割合③(初級編)</li> <li>22 課税売上割合④(初級編)</li> <li>23 課税売上割合⑤(初級編)</li> <li>24 課税売上割合⑥(初級編)</li> <li>25 課税期間における課税売上高①(初級編)</li> <li>26 課税期間における課税売上高②(初級編)</li> <li>27 課税売上割合に準ずる割合①(初級編)</li> <li>28 課税売上割合に準ずる割合②(初級編)</li> <li>29 仕入れに係る対価の返還等①(初級編)</li> <li>30 仕入れに係る対価の返還等②(初級編)</li> <li>31 納税義務の免除①(初級編)</li> <li>32 納税義務の免除②(初級編)</li> <li>33 納税義務の免除③(初級編)</li> <li>34 納税義務の免除④(初級編)</li> <li>35 納税義務の免除⑤(初級編)</li> <li>36 国境を越えた役務の提供①(初級編)</li> <li>37 国境を越えた役務の提供②(初級編)</li> <li>38 国境を越えた役務の提供③(初級編)</li> <li>39 国境を越えた役務の提供④(初級編)</li> <li>40 国境を越えた役務の提供⑤(初級編)</li> <li>41 中間申告に係る納付税額の計算①(初級編)</li> <li>42 中間申告に係る納付税額の計算②(初級編)</li> <li>43 課税仕入れ等の分類①(初級編)</li> <li>44 課税仕入れ等の分類②(初級編)</li> <li>45 課税仕入れ等の分類③(初級編)</li> <li>46 課税仕入れ等の分類④(初級編)</li> <li>47 課税仕入れ等の分類⑤(初級編)</li> <li>48 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①(初級編)</li> <li>49 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②(初級編)</li> <li>50 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③(初級編)</li> <li>51 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)</li> <li>52 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)</li> <li>53 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③(初級編)</li> <li>54 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④(初級編)</li> <li>55 納税義務の免除の特例①(初級編)</li> <li>56 納税義務の免除の特例②(初級編)</li> <li>57 納税義務の免除の特例③(初級編)</li> <li>58 納税義務の免除の特例④(初級編)</li> <li>59 納税義務の免除の特例⑤(初級編)</li> <li>60 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)</li> <li>2 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)</li> <li>3 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)</li> <li>4 課税標準①(初級編)</li> <li>5 課税標準②(初級編)</li> <li>6 課税標準③(初級編)</li> <li>7 課税標準④(初級編)</li> <li>8 簡易課税制度①(初級編)</li> <li>9 簡易課税制度②(初級編)</li> <li>10 簡易課税制度③(初級編)</li> <li>11 簡易課税制度④(初級編)</li> <li>12 簡易課税制度⑤(初級編)</li> <li>13 簡易課税制度⑥(初級編)</li> <li>14 簡易課税制度⑦(初級編)</li> <li>15 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する(基礎)
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 相続税法の概要(基礎)</li> <li>3 相続税法と民法(基礎)</li> <li>4 相続人、代襲相続(基礎)</li> <li>5 養子の子の取扱い(基礎)</li> <li>6 相続の承認と放棄(基礎)</li> <li>7 相続分(法定相続分、代襲相続分)(基礎)</li> <li>8 遺言による財産の取得(基礎)</li> <li>9 相続税の納税義務者(基礎)</li> <li>10 生命保険金等(基礎)</li> <li>11 相続税の非課税財産(基礎)</li> <li>12 相続税額の計算方法(基礎)</li> <li>13 生命保険金等の非課税金額(基礎)</li> <li>14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額(基礎)</li> <li>15 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	120時間(4単位)
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 贈与税の概要(基礎)、贈与税の納税義務者(基礎)</li> <li>2 弔慰金等(基礎)、債務控除(基礎)</li> <li>3 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算(基礎)</li> <li>4 相続時精算課税適用財産(基礎)、生前贈与加算相続税の総額(基礎)</li> <li>5 算出相続税額の計算(基礎)、相続税額の加算(基礎)</li> <li>6 贈与税額控除(暦年)(基礎)、配偶者の税額軽減(基礎)</li> <li>7 未成年者控除(基礎)、障害者控除(基礎)</li> <li>8 確認テスト①(理論)</li> <li>9 特定納税義務者(基礎)</li> <li>10 特定納税義務者の債務控除(基礎)、特定納税義務者の障害者控除(基礎)</li> <li>11 贈与税額控除(精算)(基礎)</li> <li>12 自用地(評価方式・路線価方式・倍率方式)(基礎)</li> <li>13 自家用屋(基礎)、家屋と構造上一体となっている設備(基礎)</li> <li>14 特別養子制度(基礎)、生命保険契約に関する権利(基礎)</li> <li>15 被保険者でない保険契約者が死亡した場合(基礎)</li> <li>16 法定相続人の数(基礎)、本来の財産(基礎)</li> <li>17 自用地(路線に2以上の路線価が付されている宅地)(基礎)</li> <li>18 地区区分の異なる宅地(基礎)</li> <li>19 側方路線等に宅地の一部が接している場合(基礎)</li> <li>20 普通借地権(自用借地権)(基礎)、貸宅地(基礎)、貸家建付地(基礎)</li> <li>21 貸家建付借地権(基礎)、貸家(基礎)</li> <li>22 一般動産(基礎)、たな卸商品等(基礎)</li> <li>23 書画骨とう品(基礎)、預貯金(基礎)</li> <li>24 上場株式(基礎)、構築物(基礎)</li> <li>25 貸付金債権等(基礎)、受取手形等(基礎)</li> <li>26 間口が狭小な宅地等(基礎)、角切り宅地の間口距離(基礎)</li> <li>27 確認テスト②(理論)</li> <li>28 使用貸借により借り受けた宅地等(基礎)</li> <li>29 使用貸借により貸し付けられた宅地等(基礎)</li> <li>30 使用貸借により貸し付けられた家屋(基礎)</li> <li>31 小規模宅地等の減額①(基礎)</li> <li>32 小規模宅地等の減額②(基礎)</li> <li>33 小規模宅地等の減額③(基礎)</li> <li>34 小規模宅地等の減額④(基礎)</li> <li>35 小規模宅地等の減額⑤(基礎)</li> <li>36 小規模宅地等の減額⑥(基礎)</li> <li>37 確認テスト③(理論)</li> <li>38 取引相場のない株式①(基礎)</li> <li>39 取引相場のない株式②(基礎)</li> <li>40 取引相場のない株式③(基礎)</li> <li>41 取引相場のない株式④(基礎)</li> <li>42 取引相場のない株式⑤(基礎)</li> <li>43 取引相場のない株式⑥(基礎)</li> <li>44 取引相場のない株式⑦(基礎)</li> <li>45 取引相場のない株式⑧(基礎)</li> <li>46 取引相場のない株式⑨(基礎)</li> <li>47 取引相場のない株式⑩(基礎)</li> <li>48 取引相場のない株式⑪(基礎)</li> <li>49 取引相場のない株式⑫(基礎)</li> <li>50 取引相場のない株式⑬(基礎)</li> <li>51 利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等(基礎)</li> <li>52 相当の地代を受け取っている場合の貸宅地(基礎)</li> <li>53 相当の地代を支払っている場合の借地権(基礎)</li> <li>54 土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地(基礎)</li> <li>55 利用区分が異なる建物(基礎)、建築中の家屋(基礎)</li> <li>56 不整形地(基礎)、地積規模の大きな宅地(基礎)</li> <li>57 かけ地等を有する宅地(基礎)、旗竿状の宅地等(基礎)</li> <li>58 容積率の異なる宅地(基礎)</li> <li>59 都市計画道路予定地の区域内にある宅地(基礎)</li> <li>60 確認テスト④(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 4回分の平均点100%
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 私道の用に供されている宅地(基礎)、セットバックを必要とする宅地(基礎)</li> <li>2 上場株式(権利落)(基礎)、株式の割り当てを受ける権利(基礎)</li> <li>3 宅地等の評価単位(基礎)、契約者貸付金等がある場合の保険金(基礎)</li> <li>4 純農地、中間農地、純山林、中間山林(基礎)</li> <li>5 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林(基礎)</li> <li>6 立木、立木の評価減(基礎)、配当期待権(基礎)</li> <li>7 贈与税が課税される場合(基礎)、相続税が課税される場合(基礎)</li> <li>8 負担付遺贈・贈与(基礎)、贈与税の非課税財産(基礎)</li> <li>9 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)</li> <li>10 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例(基礎)</li> <li>11 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)</li> <li>12 証券投資信託受益証券(基礎)、ゴルフ会員権(基礎)</li> <li>13 不動産投資信託証券(基礎)、措法70の非課税(基礎)</li> <li>14 権利義務の承継(基礎)、贈与税の配偶者控除(基礎)</li> <li>15 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス(中級) 2 納税義務者(中級) 3 課税所得の範囲(中級) 4 交際費等の損金不算入Ⅰ(中級) 5 減価償却Ⅰ(中級) 6 減価償却Ⅱ(中級) 7 減価償却Ⅲ(中級) 8 受取配当等の益金不算入Ⅰ(中級) 9 寄附金の損金不算入Ⅰ(中級) 10 租税公課等(中級) 11 納税充当金Ⅰ(中級) 12 納税充当金Ⅱ(中級) 13 別表四の作成(中級) 14 事業年度(中級) 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	120時間(4単位)
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 貸倒損失Ⅰ(基礎) 2 貸倒損失Ⅱ(基礎) 3 貸倒引当金Ⅰ(基礎) 4 貸倒引当金Ⅱ(基礎) 5 欠損金Ⅰ(基礎) 6 欠損金Ⅱ(基礎) 7 外貨建取引Ⅰ(基礎) 8 外貨建取引Ⅱ(基礎) 9 有価証券Ⅰ(基礎) 10 有価証券Ⅱ(基礎) 11 収用等Ⅰ(基礎) 12 収用等Ⅱ(基礎) 13 所得税額控除Ⅰ(基礎) 14 所得税額控除Ⅱ(基礎) 15 国庫補助金等Ⅰ(基礎) 16 国庫補助金等Ⅱ(基礎) 17 別表五(一)の作成Ⅰ(基礎) 18 別表五(一)の作成Ⅱ(基礎) 19 圧縮記帳Ⅰ(基礎) 20 圧縮記帳Ⅱ(基礎) 21 役員判定Ⅰ(基礎) 22 役員判定Ⅱ(基礎) 23 役員給与Ⅰ(基礎) 24 役員給与Ⅱ(基礎) 25 使用人給与Ⅰ(基礎) 26 使用人給与Ⅱ(基礎) 27 特定資産の買換えⅠ(基礎) 28 特定資産の買換えⅡ(基礎) 29 外国税額控除Ⅰ(基礎) 30 外国税額控除Ⅱ(基礎) 31 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ(基礎) 32 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ(基礎) 33 みなし配当金Ⅰ(基礎) 34 みなし配当金Ⅱ(基礎) 35 資本等取引Ⅰ(基礎) 36 資本等取引Ⅱ(基礎) 37 交換差益Ⅰ(基礎) 38 交換差益Ⅱ(基礎) 39 交換差益Ⅲ(基礎) 40 別表五(二)Ⅰ(基礎) 41 別表五(二)Ⅱ(基礎) 42 別表五(二)Ⅲ(基礎) 43 別表五(二)Ⅳ(基礎) 44 リース取引Ⅰ(基礎) 45 リース取引Ⅱ(基礎) 46 リース取引Ⅲ(基礎) 47 リース取引Ⅳ(基礎) 48 繰延資産Ⅰ(基礎) 49 繰延資産Ⅱ(基礎) 50 繰延資産Ⅲ(基礎) 51 繰延資産Ⅳ(基礎) 52 確定決算型Ⅰ(基礎) 53 確定決算型Ⅱ(基礎) 54 確定決算型Ⅲ(基礎) 55 確定決算型Ⅳ(基礎) 56 グループ法人税制Ⅰ(基礎) 57 グループ法人税制Ⅱ(基礎) 58 資産の評価損益(基礎) 59 保険料(基礎) 60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス専攻学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 設立事業年度(応用)</li> <li>2 組織再編税制(応用)</li> <li>3 工事の請負(応用)</li> <li>4 修正申告(応用)</li> <li>5 税効果会計(応用)</li> <li>6 貸上げ・投資促進税制(応用)</li> <li>7 スピンオフ税制(応用)</li> <li>8 特定同族会社の特別税率(応用)</li> <li>9 適用除外事業者(応用)</li> <li>10 地方法人税(応用)</li> <li>11 外国子会社配当(応用)</li> <li>12 借地権等(応用)</li> <li>13 償還差損益(応用)</li> <li>14 未収還付税金(応用)</li> <li>15 確認テスト(理論)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	